

中田久恵 選 投稿数17首

不意打ちの魔の刻流れ早や一年被災者の苦悩に胸はりさける
 (評)この歌の核は「不意打ちの魔の刻」である。この一年間は異次元の災難とでも云おうか、筆舌につくしがたい月日であったことが、この三十一文字の中でしっかりと詠み込まれた叶子さんの力量を示している。過去において十万人もの犠牲者を出した関東大震災後の混乱のさなか驚くべきスピードで復興への青写真を描いたのは、のちの帝都復興院総裁の後藤新平である。「物事の成否の鍵は人にある」彼の信念であった。今ここに東日本大震災からの復興に身をささげる名もなき人々のことを切に思う。大津波に無念の横死約二万悲しみ深く一周忌くる
 「おいしいね」うなづき合いて朝食のエネルギー満たしひと日はじまる
 身に巣くう病魔を運命と受け止めて彼にそよ吹け希望の春風
 始めての福祉のお湯に「ありがとう」言いつつ委ねる九十四の母は
 あの窓に銘仙織りし女衆の姿が見ゆる昨日のように
 夕餉には菜の花和への彩添えてひと日過ぐるは幸せなりき
 風雪に耐えて卒寿を迎えたり趣味に遊べば刻の短かし
 歌劇にて戦場に散るカメラマン平和を叫ぶ幕降りる間も
 銃のなき袋を吊し日々眺め同志でありし友を偲べり
 独居の義母の雪かき手伝えりなごりの雪と吾思いつつ
 此の冬の寒気に耐えて白梅は今朝一輪庭に咲きけり
 このところ寒さも少し和らぎて手拭風船湯舟にあそぶ
 香を手向け先祖や夫を偲びつつ嫁と彼岸の墓掃除せり
 寂聴は身代わりとして死にたまふ万の人の命を生きよと
 三沢 新井 叶子
 三沢 眞下 杏子
 皆野 新井 愛子
 皆野 豊田喜美恵
 三沢 鈴木久良子
 三沢 鈴木 貞恵
 三沢 新井 民子
 皆野 関根 助市
 皆野 根岸 詩子
 三沢 長谷河光久
 皆野 井上喜美子
 皆野 笠原三江水
 皆野 引間 万亀
 下日野沢 浅見 豊子
 皆野 桜井 早苗

引間豊作 選 投稿数18句

春の日の光ひしめく江戸切子
 (評)江戸切子とは、江戸時代末期に江戸(現在の東京)で始まったカットガラス工法のガラス工芸・細工である。伝統工芸に認定されているガラス工芸品で地域ブランドの一つ。天保五年に江戸大伝馬町のビードロ屋・加賀屋久兵衛が金剛砂(サクロ石)を用いて、ガラスの表面に彫刻で模様を施したのが起こりと言われる。「日の光ひしめく」とは言い得て妙なる表現であり、最高の褒め言葉である。「声と二緒」や「長閑につつむ」も日本語ならではの長所であろう。
 ただ今の声と一緒に春の風
 皆野 市川 岳樹
 スカイツリー完成の日や春の雪
 三沢 眞下 杏子
 鉢の木に水やりかねる余寒かな
 下日野沢 江野 鑑子
 綿入れを縫い孫の昔を生きている
 皆野 佐藤 敏子
 耐えている蕾の枝に春の雪
 三沢 澤野 恒平
 麗けし志功の菩薩ふくよかに
 三沢 新井 民子
 電線の工事の人や牙返る
 下日野沢 引間富美子
 散策や春の鼓動を聞く山路
 皆野 関根 助市
 子守歌沢に聞こゆる蚪蚪が浮く
 三沢 新井 弘延

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
 総務課へお寄せください。
 8日必着 1人1句、1首に限ります。

車椅子を寄贈



皆野・長瀬ロータリークラブから社会貢献の一環として、車椅子5台が寄贈されました。今回で2回目になります。大切に使用させていただきます。

1歳のお誕生日おめでとう



桜優奈ちゃん



結愛ちゃん

みずほ区
 児玉 隆一さん
 理恵子さん
 さゆちゃん1才おめでとう。かわいい女の子になってね♡

根岸区
 南 光さん
 恵里さん
 いつも元気な結愛ちゃん。これからの成長も楽しみにしてるよ。